

平成29年度 学校自己評価書

小美玉市立下吉影小学校 校長 青葉 宏一

1 今年度の取り組みの概要

- 主体的・対話的な学びを通して、確かな学力の定着を図るとともに、指導力向上に努める。
- 道徳や様々な体験・ふれあいを通して、豊かな心や社会を生き抜く力を育む。
- 健康と体力の増進のため、運動に親しむ資質や能力及び体力の向上を図る。
- 一人一人の人権を尊重し、安心して安全に過ごせる環境づくりを推進する。
- 保護者・地域の教育力を活用するとともに地域に開かれた信頼ある学校づくりを目指す。

<達成度 A:十分に達成 B:おおむね達成 C:達成せず D:課題が残る>

◎ 組織目標 1 についての具体的な取り組み

組織目標 1	授業力を高め、主体的・対話的な授業を実践し、確かな学力の習得と活用する力の育成を目指す。		
達成目標	具体的な方策	実施結果	達成度
○「授業がよく分かる」と答える児童の割合が90%以上を目指す。	・ペア学習やグループ学習を取り入れ、根拠を明らかにして互いの考えを伝え合う授業を実践する。	・「授業がよく分かる」と答えた児童の割合は98.7%であった。保護者の割合は92.4%であり、児童・保護者ともに目標値を上回った。	A
○各教科の単元テストの平均正答率(国・社・算・理)が80%以上を目指す。	・操作的学習や体験的な活動、繰り返しの学習を重視し学力の定着を図る。	・各教科の単元テストの平均正答率(国・社・算・理)が80%以上を超えることができた。(国84.6, 社83.1, 算82.4, 理83.1)	A
○学力診断のためのテストで全教科での平均が市・県平均を上回るようにする。	・百マス作文の導入など、書く活動の強化を図るとともに、校内研修支援事業等を活用した研修を通して指導力向上に努める。	・学力診断のためのテスト結果では県平均と比べ3年が+20.9%, 4年が+9.9%, 5年が+17%, 6年が-5.2%全体で+42.6%と上回った。	A

※組織目標2, 3がある場合は、記入してください。

◎ 組織目標 2 についての具体的な取り組み

組織目標 2	体験活動を重視し、豊かな心や社会を生き抜く力の育成を目指す。		
達成目標	具体的な方策	実施結果	達成度
○学校評価アンケートで、「学校が楽しい」と答える割合が90%以上を目指す。	・誰もが大切にされ互いに認め合う集団を確立するとともに居場所のある学級・学校づくりを実践する。	・「学校が楽しい」と答える児童の割合が94.8%, 保護者が95%となり、目標値を上回った。	A
○「自分もみんなも大切にしたい」と答える割合が90%以上を目指す。	・道徳の時間や学級活動を通して、いじめを許さない雰囲気づくりと信頼し支え合う人間関係を築く。	・自分もみんなも大切にしたい」と答える割合が97.4%となった。当てはまらないと答えた児童は2人であった。	A
○「学校行事に進んで参加し、協力できる」と答える割合が90%以上を目指す。	・集団活動に進んで参加し、自分の役割を自覚し、誰もが活躍できる場を設定する。	・「学校行事に進んで参加し協力できる」と答えた児童は98.7%であった。1人が当てはまらないと答えた。	A

◎ 組織目標 3 についての具体的な取り組み			
組織目標 3		体育・保健・食育の指導を充実させ、健やかな体の育成を目指す。	
達成目標	具体的な方策	実施結果	達成度
○ 落ち込んでいる項目(敏捷性, 柔軟性, 筋力等)について強化し, A+Bの達成率が70%を目指す。	・各種の運動の質や量を工夫改善して, 基本的な技能を身に付けるとともに運動の日常化を図る。	・体力テストの結果では, 昨年度と比較し A+B が 65.8% から 79.7%, (A+B) - (D+E) が 56.9%から 74.3%と向上した。	A
○虫歯ゼロに向けた指導を通し, 歯の治療率の向上を図る。	・バランスのとれた食事の摂取や自ら虫歯の予防に取り組む態度を養う。	・虫歯治療率は73%で, 昨年度よりは向上したが, 目標値は達成できなかった。	B
○自己管理能力を高め, 規則正しい生活習慣を身に付ける。	・食の大切さについての知識・理解を深めるとともに早寝・早起き・朝ご飯の徹底を図る。	・朝食摂取率 97%, 食事のマナーは 93.6%の児童が守れている。ゲーム・TV を4時間以上という児童 13%と多い。	B

2 今年度の成果と次年度に向けた課題

- 「分かる授業」の実践では, 一斉授業の教え込む授業からの脱却を図り, 子どもが主体的・対話的に学び合う授業を確立することができた。また, 定期的・継続的な研修を通して, 授業力向上を図ることができた。
- 課題となっていた「書く力」を育成するため, 「100マス作文」や校長・教頭・教務による国語の添削指導等により, 学力診断のためのテストにおける国語の正答率では, すべての学年において県平均を上回るなど, 成果をあげることができた。
- ミュージカルや合唱を通して, 自分に自信をもって表現できる児童が多く育った。また, 稲作や自然体験, ボランティア活動, 縦割り班活動などの体験活動やふれあいを通して豊かな心が育った。
- 体力アップ月間や補強運動・国体ダンスの導入等により, 体力が向上した。欠席ゼロの日が1月末現在で60日となった。
- 下吉祭など, 学校行事では, 保護者・地域の方と協力体制を構築しながら, 学校と保護者・地域が一体となった運営をするとともに開かれた学校づくりを実践することができた。
- ゲームやインターネットをやる時間が多く, 家庭学習の習慣が確立されていない。

3 保護者や地域への皆様へ

本校は, 小規模校のよさを生かし, 一人一人を大切にすきめ細やかな教育活動を展開してまいりました。特に, 今年は, 学力の向上とともに, 豊かな心の育成と社会を生き抜く力の育成において「ほめて伸ばし夢を育む教育」と「自主性・自立性の育成」を推進してまいりました。

学力面では, 県学力診断のためのテストで昨年度より大きく正答率を上げるなど, 成果を残すことができました。また, 集会や行事等では, 子どもたちが自分に自信をもって生き生きと輝く姿をたくさん見ることができました。一人一人のよさや成長を認め賞賛し, それを保護者や地域の皆様と共有できたことは大きな喜びでした。

さらに, 本校の特色の一つでもある稲作や全校ミュージカル, 下吉祭りでは, たくさんの保護者や地域の皆様に関わっていただき, 成功を収めることができました。貴重な体験は子どもたちの豊かな人間性の基盤となると信じています。ご協力くださった皆様に感謝申し上げます。

これからも, 保護者や地域の皆様の声をよく聞き, 手を取り合って, 知性に富み, 心豊かでたくましい児童の育成を目指してまいります。引き続き, 本校の教育活動へのご理解, ご協力をお願いいたします。